工　事　説　明　書

ガスビルトインコンロ	
型　式　名	
60cm幅タイプ	75cm幅タイプ
C3WL8RWA・DW32L8WA	C3WL9RWA・DW32L9WA

誤った機器の設置を行った場合の危害·損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

 禁止　 必ず守る　 分解禁止

設置される方へ（この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。）

・周囲の壁が不燃材料以外で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
どうしても設置しなければならない場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。
防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。
※仕上げの構造が確認できない場合は、必ず防熱板を取り付けてください。
・下記に応じて設置を行ってください。
（1）ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 → 6ページ
（2）ビルトイン形ガスオーブンとセットで設置する場合 → 15ページ

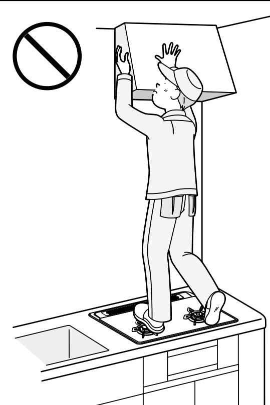


 必ず守る
機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う。

 必ず守る
建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う。

 禁止
トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズをつけない。
ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。
また火災・損傷事故の原因になります。

 禁止
機器の上には絶対にのらない。また、ガラスに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけない。
ごとくの変形やトッププレートのガラス破損につながり、異常過熱や火災の原因になります。





 分解禁止
設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わない。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。



・乾電池を抜かずに点火/消火ボタンを「点火の状態」で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

・この工事説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。
・設置が終了したら、試運転のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
・この工事説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
・設置終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。



ケG79

○もくじ

開こん

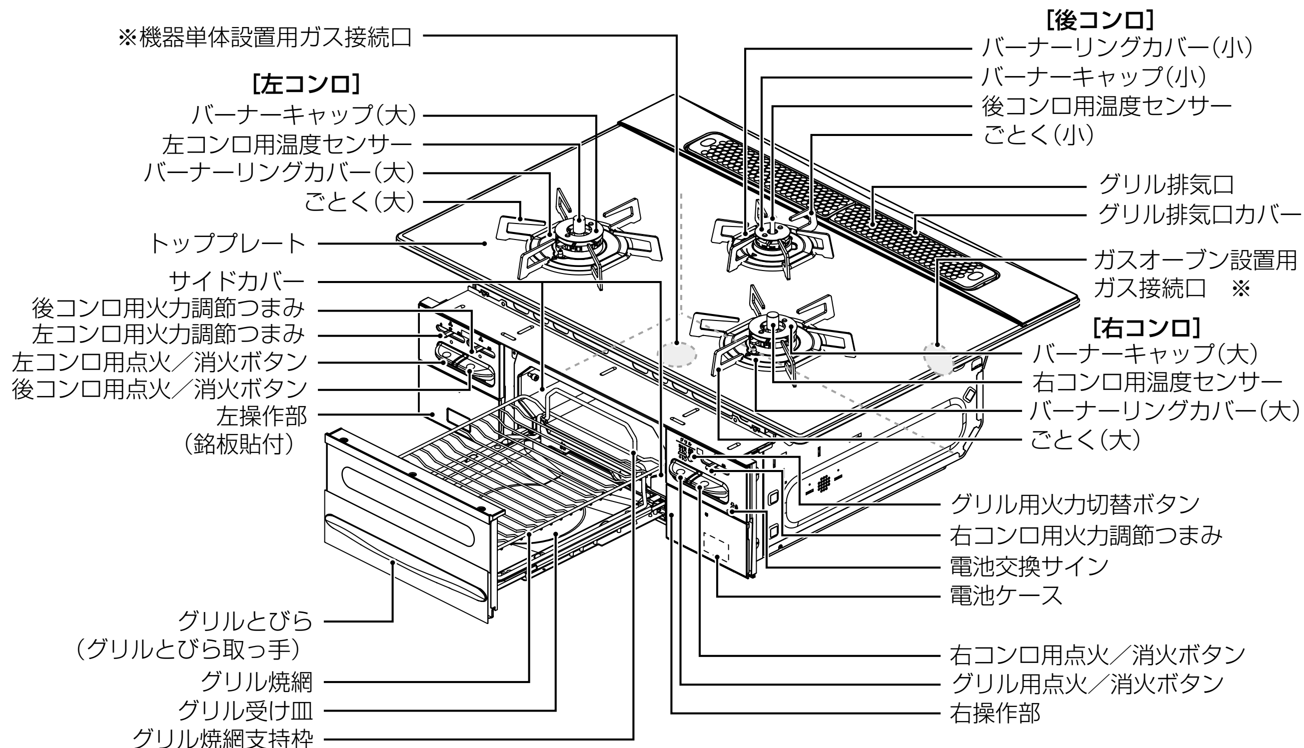
◎同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部　品　名	形　　状	個数	部　品　名	形　　状	個数
バーナーキャップ(大) ＜左右コンロ用＞		2	グリル焼網		1
バーナーキャップ(小) ＜後コンロ用＞		1	グリル焼網支持台		1
ごとく(大) ＜左右コンロ用＞		2	グリル排気口カバー		2
			左パネルふた		1
ごとく(小) ＜後コンロ用＞		1	右パネルふた		1
バーナーリングカバー(大) ＜左右コンロ用＞		2	左操作部ふた		1
バーナーリングカバー(小) ＜後コンロ用＞		1	右操作部ふた		1
			アルカリ乾電池単1形		2
サイドモール(左) サイドモール(右)		各1	取扱説明書(保証書付) 工事説明書 クッキングブック 検圧ロネジ用アルミパッキン	(検圧ロネジ用アルミパッキンは、ビルトインコンロで検圧した場合の取り替え用です。 機器取付パッキンとは形状が異なりますので注意してください。)	各1
サイドカバー(左) サイドカバー(右)		各1			

各部のなまえ

C3WL9RWAタイプ



・その他のタイプについては、トッププレートの幅が異なりますので、詳しくは取扱説明書の「各部のなまえ」を参照してください。

※ガス接続口の位置を示す。(透視図)

設置前の注意

◎設置する機器の確認

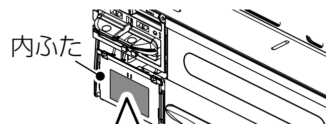
・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

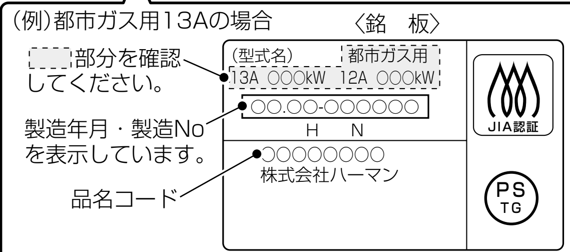
⚠注意

銘板（左操作部内ふたに貼付）に表示してあるガスに適合していることを確認する。（必ず守る）
火災・不完全燃焼・爆発着火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。

ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。（必ず守る）
爆発や不完全燃焼の原因になります。

この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。（必ず守る）
火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。





◎設置場所の確認

・設置場所を決めるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠注意

設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。（必ず守る）
他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。（必ず守る）

水平で丈夫な場所に設置する。（必ず守る）

保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。（必ず守る）
設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。

引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。（禁止）

ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。（必ず守る）

棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。（禁止）
火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。

この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置すると著しく機器の寿命が短くなります。（禁止）

コンロ下部キャビネット裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする。（必ず守る）
・右図のようにガス配管貫通部など建物構造上内気と外気がつながり、図1のような異常な空気の流れが起こるのでキャビネットに背板をもうけるか、図2のように仕切板※（ベニヤ板など）により機器の後方をふさいでください。

正常な空気の流れ　異常な空気の流れ　正常　異常　ガス管　外気の流れ　コンロ下キャビネット　後壁　床

図1

（仕切板設置例）

後壁　キャビネット背板または仕切板※（ベニヤ板など）

図2

コンロの炎がゆらいだり、消えたり異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

※別売の仕切板セット（DP0723、DP0724）を用意しています。仕切板セットのお求めは、お買い上げの販売店または、弊社（取扱説明書の裏表紙連絡先参照）に連絡してください。

ワークトップの前面部と機器の間を化粧板などで閉塞しない。（禁止）
不完全燃焼の原因になります。

ワークトップ　化粧板など　機器側面

・上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
　・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
　・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

機器の設置

◎防火上の離隔距離

・機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。

・この機器は防火性能評定品です。

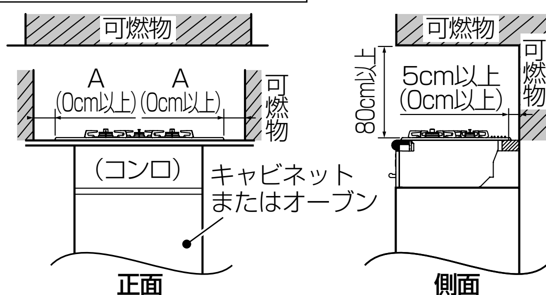
⚠注意


必ず守る

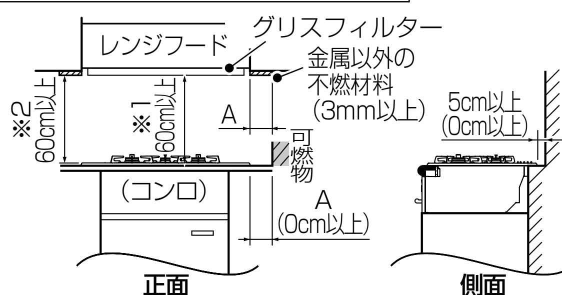
周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。
火災の原因になります。

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、トップブレート上部に貼り付けの防火性能評定ラベルに基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合



レンジフードおよび不燃材の場合



A寸法
60cm幅タイプ：15cm以上
75cm幅タイプ：7.5cm以上

※（　）内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料3mm未満は、80cm以上。

◎上記離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。（下記参照）

⚠注意

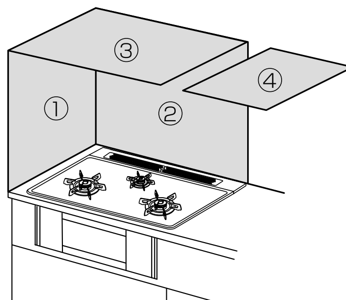

必ず守る

防熱板（別売品）は、必ず指定のものを使用する。
防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。

・防熱板は60cm幅タイプは4種類、75cm幅タイプは5種類用意しています。
・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は別売の防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

	コード番号	高さ	幅(mm)	備　考
①	DP0128	590	535	共用
②	LP0130	590	600	60cm幅タイプ用
	LP0131		750	75cm幅タイプ用
③	DP0129	550	900	共用
④	LP0117	550	150	75cm幅タイプ用
⑤	DP0101	90	600	60cm幅タイプ用
	DP0104		750	75cm幅タイプ用

※DP0101、DP0104はワークトップ後部の立ち上がり用





（ワークトップの後部に立ち上がりがある場合）

※イラストはイメージです。

防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

◎ワークトップおよびキャビネットについて

・**ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS K6903）または同等以上の材料としてください。**
　・ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。

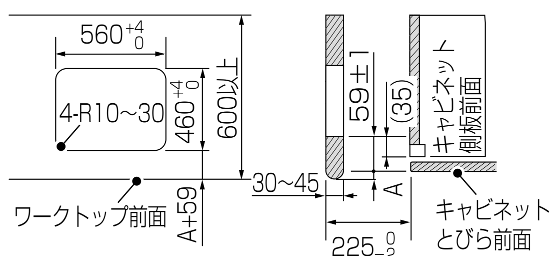
・**機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。**
　・穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

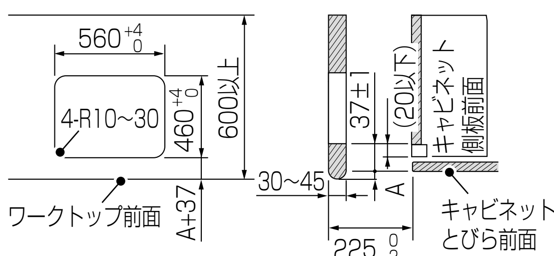
⚠注意



45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。
また、不完全燃焼の原因になります。

標準（A＋59）穴あけ寸法　　**A＋37穴あけ寸法**　　〈単位：mm〉





穴あけ寸法はA＋59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA＋59、（A＋45）A＋37のどちらでも設置できます。

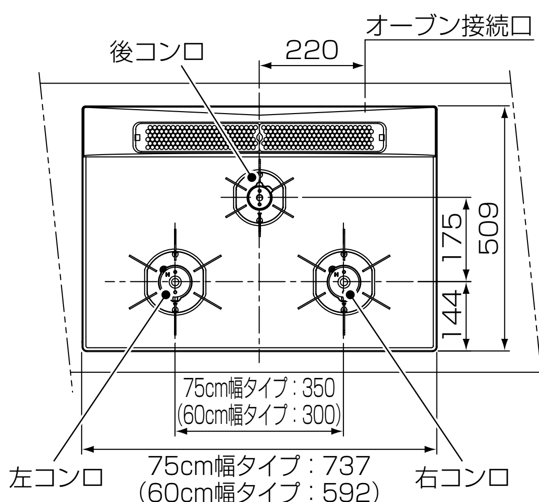
◎機器の取り付け

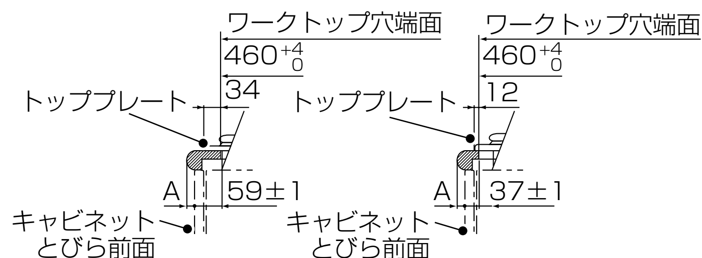
・**ビルトインコンロ単体で設置する場合**

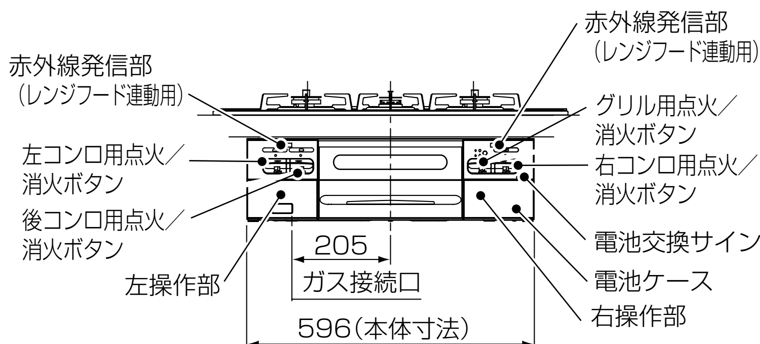
[標準設置図・機器寸法図]

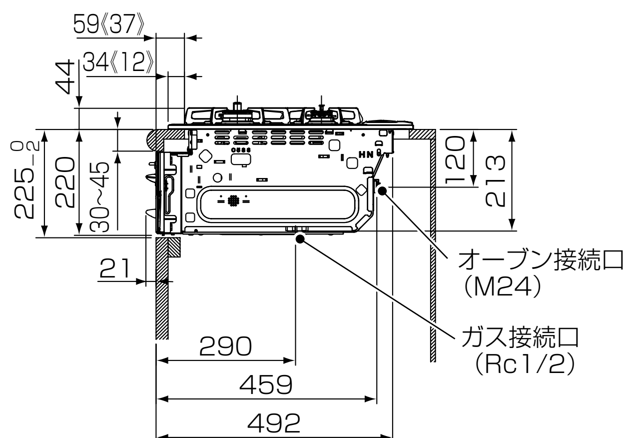
※図は75cm幅タイプです。
※その他のタイプについても、トッププレート幅が異なりますが、設置寸法は同じです。
※《　》内の寸法はA+37設置寸法です。

〈単位：mm〉









[機器本体の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1. 機器側ガス接続口の接続 接続ふたの取り外し ・機器底部左側のガス接続口に取り付けてある接続ふた（ネジ3本）とOリングを取り外してください。 **《取り外した接続ふた・接続ふた取付ネジ・Oリングは不要です。》**	
2. 前桟パットの取り外し ・前桟パットを手前に引き抜いてください。 **お願い** ・その他のテープ・グリルとびらカバーは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。 取り外すと、グリルとびらや操作部が開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。	
3. 機器本体のはめ込み ・機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ※上部左または、右の枠を持たないでください。（75cm幅タイプのみ） ※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。 **⚠注意** 禁止　**絶対にガス配管やバーナーなどを持たない。** ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 必ず守る　**機器を設置したあと、設置用取っ手を手前にたおす。** トッププレートのガラスが割れる危険があります。	

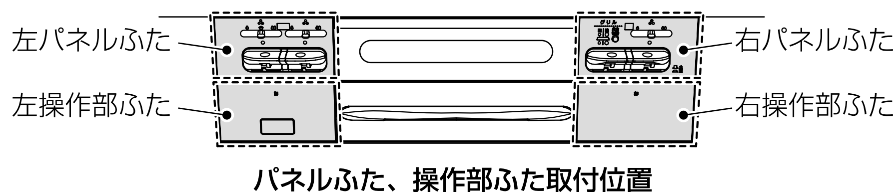
作　　業　　手　　順	説　　明　　図
4．グリル内包装材の取り外し ・7ページ（2.前桟パットの取り外し）で取り外した残りの包装材を取り外し、グリルとびらを引き出し、焼網パット・チラシ・ポリシートを取り除いてください。	グリル焼網 グリル焼網支持台 焼網パット グリル受け皿 チラシ ポリシート
5．サイドモールの取り付け ・サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ※サイドモールは、（左）（右）がありますので、右図の通り取り付けてください。 **《サイドモールの取り付け忘れ注意！》** ※イラストはわかりやすくするために、コンロ本体のみにしています。	サイドモール（左） サイドモール（右） 凸部（切り込み）

パネルふた、操作部ふたの取り付け時、必ず確認してください。

⚠注意



パネルふた（2個）、操作部ふた（2個）は、（左）（右）があります、取り付け方向に注意する。



パネルふた、操作部ふた取付位置

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
6. パネルふたの取り付け ※必ずグリルとびらを引き出した状態で行ってください。 1. パネルふたのツメ（2カ所）をグリル側から機器本体の欠き部に合わせてください。 2. パネルふたのツメを欠き部に差し込み、パネルふたを押し当ててください。 3. ロックバーをカチッと音がするまで下げてください。 ※ツメが機器本体の欠き部にきちんと差し込まれているか、また、パネルの浮き、外れがないか確認してください。 ※イラストは、右パネルふたで説明しています。 左パネルふたも同様に取り付けてください。 ただし、ツメや欠き部、ロックバーの位置が左右逆になりますので、注意してください。	1. 欠き部　右パネルふた　ツメ 2. 3. 下げる　ロックバー
7. 操作部ふたの取り付け 1. 操作部ふた（裏面）のツメ（2カ所）の開いている部分をパネル下方の軸部に合わせ、斜め上方よりパチンと音がするまで差し込んでください。 2. 操作部ふたを奥側に押して、操作部を取り付けてください。 3. 浮きやパネルふたと段差がないか確認してください。 ⚠注意 必ず守る **操作部ふたのツメ（2カ所）を差し込むときは、軸部にまっすぐ2カ所同時に差し込む。** 傾けて取り付けると、ツメが破損するおそれがあります。 ※イラストは、右操作部ふたで説明しています。 左操作部ふたも同様に取り付けてください。 ただし、ツメの位置が左右逆になりますので、注意してください。	右操作部ふた（裏面）　ツメ　軸部 1. 差し込む 2. 押し込む
8. 機器本体の固定 ・機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ（4本）でワークトップに固定してください。 ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。	機器本体 本体固定ネジ（4本） イラストは、75cm幅タイプです。

[部品の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1. トッププレートの取り付け 1. 機器本体後部に止めてあるトッププレート固定用ネジ(2本)を外してください。(このネジは、3. で使用します。) 2. トッププレートを水平に保ちながら機器本体にかぶせます。バーナーリングとバーナーを合わせながらトッププレートを取り付けてください。 トッププレート裏面突起部がトッププレート固定バネに確実に固定するように、トッププレート手前部を押さえてください。 3. 1. で外したトッププレート固定用ネジで、トッププレートを固定してください。 **《必ず手動ドライバーを使用！》** **※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。** **お願い** ・トッププレートの取り付けは確実に行い、浮きがないことを確認してください。 ・トッププレート枠下部周囲に取り付けられているシールパッキンが外れていないか確認してください。	トッププレート固定用ネジ バーナーリング(大) トッププレート (裏面突起部：2カ所) バーナー(大) バーナーリング(小) バーナーリング(大) バーナー(小) バーナー(大) トッププレート固定バネ トッププレート トッププレート裏面突起部 トッププレート固定バネ イラストは、75cm幅タイプです。 トッププレート枠 ガラス シールパッキン

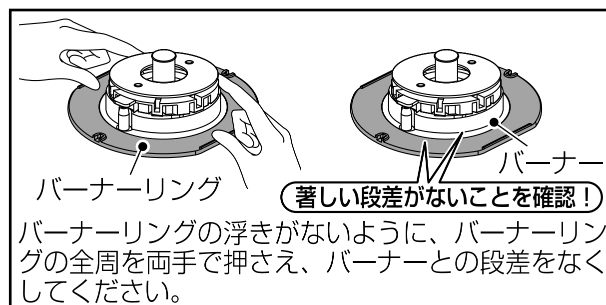
トッププレート取り付け後、必ず確認してください。

⚠注意

トッププレート取り付け後、バーナーリングの「浮き」がないことを必ず確認する。

必ず守る

「浮き」があると煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。

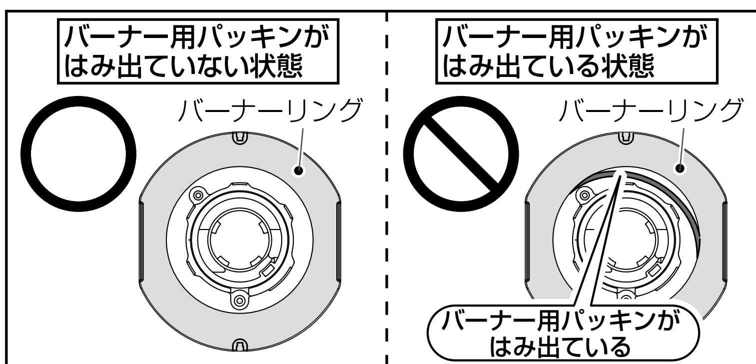


バーナーリングの浮きがないように、バーナーリングの全周を両手で押さえ、バーナーとの段差をなくしてください。

トッププレート取り付け後、バーナー用パッキンがはみ出ていないことを必ず確認する。

必ず守る

はみ出ていると、バーナーの炎により、バーナー用パッキンに異常をおこすおそれがあります。



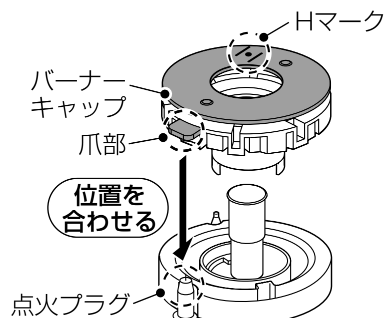
作　　業　　手　　順	説　　明　　図

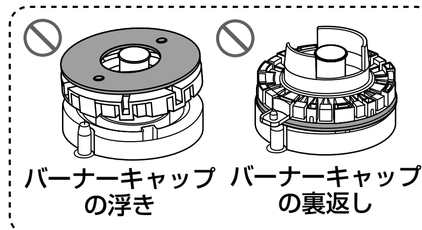
2．バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとく・グリル排気口カバーの取り付け

・バーナーキャップ・バーナーリングカバー取り付け後、ごとく・グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。

◎バーナーキャップの取り付けかた

・図のようにバーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、取り付けてください。
（点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。）





⚠注意


必ず守る

バーナーキャップを正しく取り付ける。
誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、
- 点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれやバーナーキャップが変形する原因になります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- 誤セットのまま使用すると、機器寿命が短くなります。

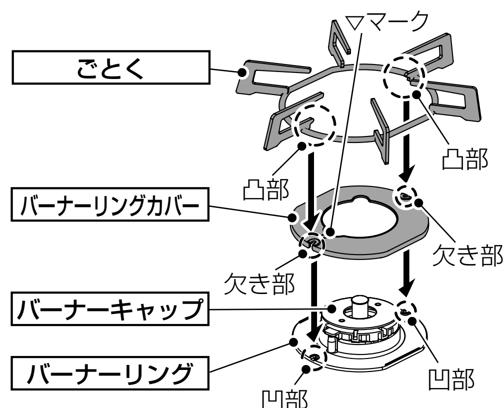
◎バーナーリングカバーの取り付けかた

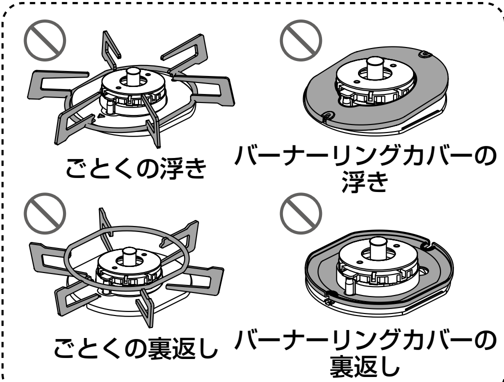
・バーナーリングカバーの▽マークを手前にし、欠き部前後2カ所をバーナーリングの凹部前後2カ所に合わせて、正しく取り付けてください。

◎ごとくの取り付けかた

・ごとくは内側の凸部2カ所を、バーナーリングカバーの欠き部前後2カ所に入れて、正しく取り付けてください。

※バーナーリングは、トッププレートに固定されています。





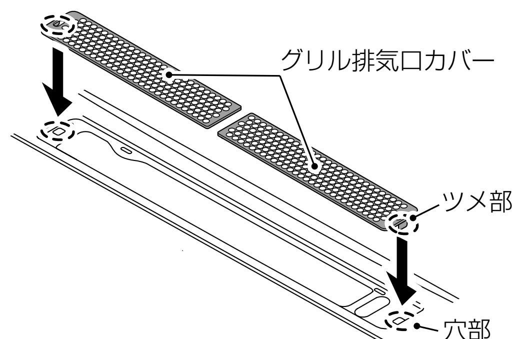
⚠注意


必ず守る

ごとくとバーナーリングカバーは、正しく取り付ける。
誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。
また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつくおそれがあります。

◎グリル排気口カバーの取り付けかた

・グリル排気口カバーのツメ部をグリル排気口の穴部に合わせて取り付けてください。



作　業　手　順	説　明　図

3. 乾電池の取り付け

アルカリ乾電池（単1形：1.5V）を2個使用します。

・乾電池の寿命は、約1年がめやすです。
（付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため、寿命が短くなっている場合があります。）

[電池ケースの引き出しかた]

1. 右操作部の上部を押し、右操作部を開けてください。
2. 右操作部ふたの左右側面の凹部に指を引っかけて、矢印の方向に開け、操作部を奥に倒してください。
3. 電池ケースの上部に指を引っかけて、引き出してください。

※ 電池ケースを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。強く引き出しますと、破損の原因になります。

※ 電池ケースは落下防止のため、途中で止まる仕様になっています。

[乾電池の取り付けかた]

4. 乾電池(2個)の⊕⊖を確かめ、電池ケースに組み込んでください。

⚠注意

禁止

乾電池の⊕⊖方向は間違えない。
点火できなくなります。

[電池ケースの戻しかた]

5. 電池ケースを奥まで押し込んでください。
6. 右操作部を元どおり確実に閉めてください。

お願い

・電池ケースに水などの異物が入った場合は、ふき取ってきれいにしてください。
電池機能不良の原因となります。

・右操作部ふたは約90°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。右操作部ふたが破損する原因になります。もし外れた場合は、9ページ（7.操作部ふたの取り付け）を参照してください。

1.

2.

開く

奥に倒す

3.

電池ケース

引き出す

4.

5.

押す

6.

作業手順	説明図

4．レンジフードファンの赤外線信号の動作確認
[レンジフードファンと連動する場合]

・点火／消火ボタンを押して点火操作をし、レンジフードファンの連動を確認してください。
・レンジフードファンが動作しない場合は、下記操作を行ってください。

◎設定を変更するとき

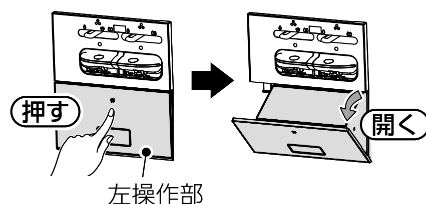
1. **機器本体より乾電池を抜いてください。**
   12ページ（3.乾電池の取り付け）を参照してください。
2. 左操作部を押して開けてください。
3. 左操作部ふたの左右側面に指を引っかけ、矢印の方向に開けてください。
4. 内ふた上部のツメ（左右2カ所）を押さえて、内ふたを開け、左操作部を奥に倒してください。
   ※内ふたを開けるときは、操作部を手前に倒した状態で行ってください。奥に倒した状態では開きません。
5. ①～③の切替スイッチで②または③に設定してください。
   （出荷時は①に設定されてます。）
   ※ ①～③ の切替スイッチで、各メーカー設定の信号に変更することができます。
6. 内ふたおよび、左操作部ふたを元通りに戻してください。
7. 乾電池を機器本体に戻してください。
8. 点火／消火ボタンを押して点火操作をし、レンジフードファンの連動を確認してください。
   ※再度設定をやり直す場合は、1. の手順から行ってください。

⚠注意

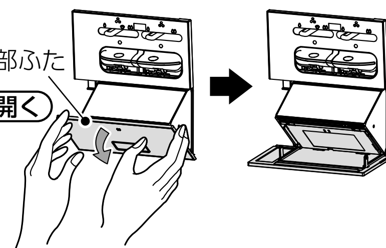

必ず守る

設定を変更する場合は、必ず乾電池を抜いて設定する。
切替スイッチを変更しても、設定はされません。

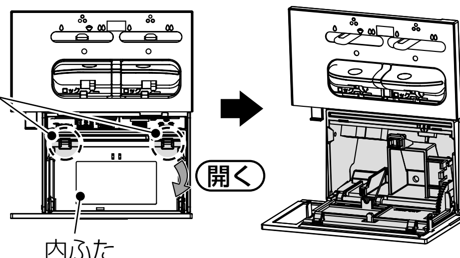
2.



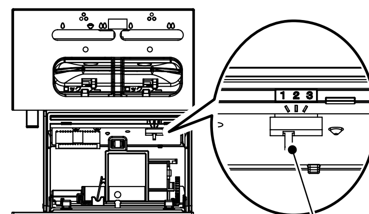
3.



4.



5.



1 2 3

出荷時

②～③のいずれかに切り替える

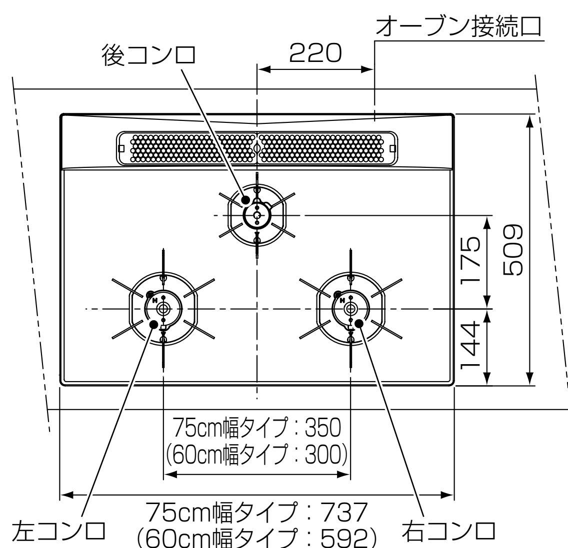
作　業　手　順	説　明　図
5．サイドカバーの取り付け 1．サイドカバーの穴部を手前のフックに引っかけてください。 2．指かけ部を持って、もう片方の手でサイドカバー側面を押さえ、まっすぐ奥に押しながら、奥のフックに切り欠き部を差し込んでください。 ※サイドカバーは、（左）（右）がありますので、注意してください。指かけ部に **"てまえ左"** または **"てまえ右"** と表示しています。 ※図は、サイドカバー（左）の場合です。サイドカバー（右）も同様に取り付けてください。	① 手前のフック 穴部 サイドカバー ② 手で押さえる 指かけ部 奥のフック
6．グリル受け皿の取り付け ・グリルスライドレールの凸部（左右）にグリル受け皿の角穴が入るように置いてください。 ※ **"手前"** と表示している方をグリルとびら側にしてください。	**"手前"**表示 グリル受け皿 角穴 凸部 グリルとびら グリルスライドレール
7．グリル焼網支持台・グリル焼網の取り付け ・グリル焼網支持台の凸部（後方2カ所）をグリル受け皿の角穴（後方2カ所）に差し込んでください。 ※グリル焼網支持台は、**"おく"** と表示している方を機器側にしてください。 ・グリル焼網をグリル焼網支持台に乗せてください。 **お願い** ・グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、サイドカバー・グリルとびら・グリル受け皿・グリル焼網支持台・グリル焼網が正しく取り付けされていません。 そのまま押し込むと、変形や損傷の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。	グリル焼網支持台 **"おく"**表示 凸部 グリルとびら グリル受け皿 角穴 グリル焼網 穴部 凸部 グリル受け皿

◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合

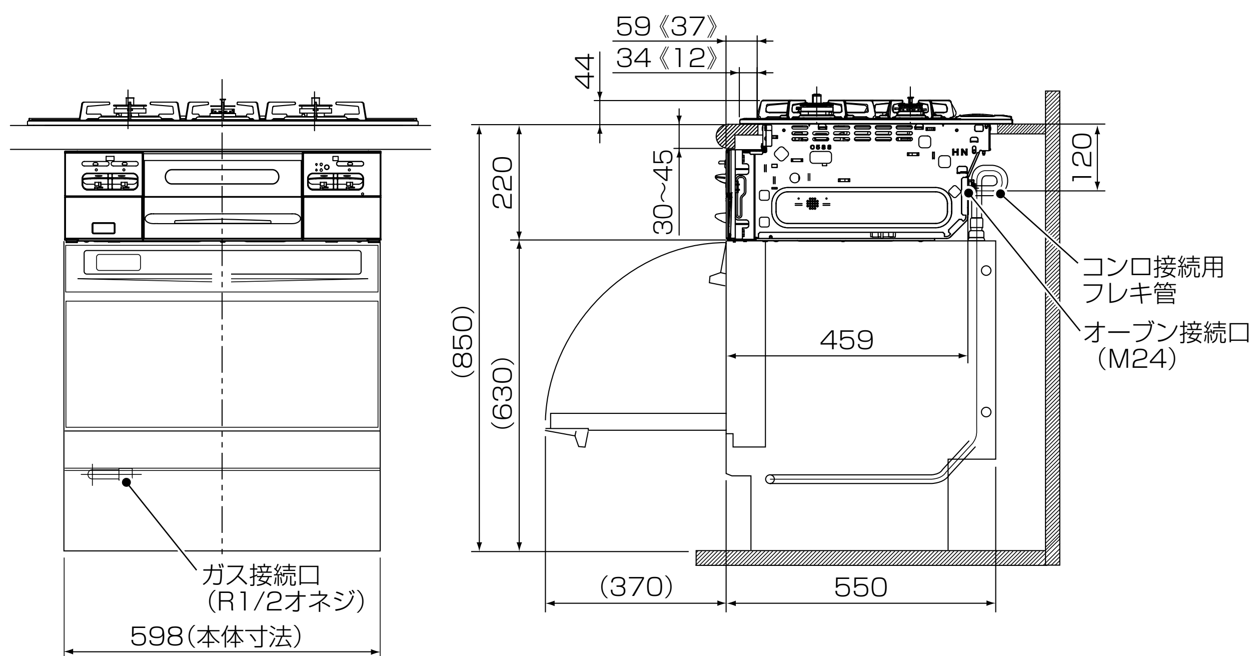
・オーブンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A＋37仕様（Vタイプ）になります。オーブンの仕様を確認のうえ設置してください。詳しくはオーブン側の「工事説明書」を参照してください。

［標準設置図・機器寸法図］

※図は75cm幅タイプです。
※その他のタイプについても、トッププレート幅が異なりますが、設置寸法は同じです。
※《　》内の寸法はA+37設置時（コンロ部）の寸法です。
※オーブン設置寸法は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。



＜単位：mm＞



[取り付け前の準備]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1. ビルトイン形ガスオーブンが設置されていることを確認する	――――――
2. グリル排気口ちり受け、グリル排気筒の取り外し ・グリル排気口ちり受け（ネジ1本）、グリル排気筒（ネジ2本）を取り外してください。 **《取り外したグリル排気口ちり受け・グリル排気口ちり受け取付ネジは不要です。》** **《取り外したグリル排気筒・グリル排気筒取付ネジはガス接続後、再度使用します。》** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
3. 仕切板（右）・（左）の取り外し ・仕切板（右）（ネジ2本）・仕切板（左）（ネジ2本）を取り外してください。 **《取り外した仕切板（右）・仕切板（右）取付ネジはガス接続後、再度使用します。》** **※仕切板（左）・仕切板（左）取付ネジはオーブン排気筒の形状によって再度使用する場合があります。（19ページ参照）** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
4. 閉塞栓の取り外し ・閉塞栓押え板（ネジ1本）を取り外してください。 ・閉塞栓を後方へ引き抜いてください。 **《取り外した閉塞栓、閉塞栓押え板、閉塞栓押え板取付ネジは不要です。》** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	
5. ビルトイン形ガスオーブンの作業	この作業はビルトイン形ガスオーブン側に付属されている「工事説明書」を参照して行ってください。

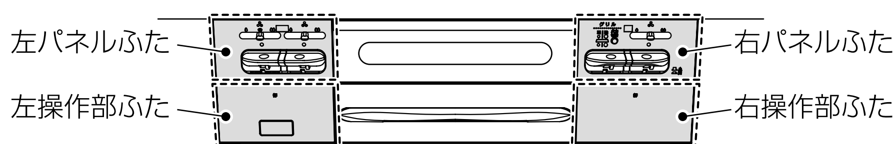
[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンの組み合わせ作業]

作業手順	説明図
1. 前桟パットの取り外し ・前桟パットを手前に引き抜いてください。 **お願い** ・その他のテープ・グリルとびらカバーは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。 取り外すと、グリルとびらや操作部が開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。	テープ 前桟パット グリルとびらカバー
2. コンロ機器本体のはめ込み ・機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ※上部左または、右の枠を持たないでください。（75cm幅タイプのみ） ※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。 **《コンロをはめ込む前に、オーブン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状・寸法に曲げてください。》** **⚠注意** 禁止 **絶対にガス配管やバーナーなどを持たない。** ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 必ず守る **機器を設置したあと、設置用取っ手を手前にたおす。** トッププレートのガラスが割れる危険があります。	設置用取っ手 コンロ接続用フレキ管 (220) (100) (80) パネル面 部は持たないでください。
3. グリル内包装材の取り外し ・1.前桟パットの取り外しで取り外した残りの包装材を取り外し、グリルとびらを引き出し、焼網パット・チラシ・ポリシートを取り除いてください。	グリル焼網 グリル焼網支持台 焼網パット グリル受け皿 チラシ ポリシート
4. サイドモールの取り付け ・サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。 ※サイドモールは、（左）（右）がありますので、右図の通り取り付けてください。 **《サイドモールの取り付け忘れ注意！》** ※イラストはわかりやすくするために、コンロ本体のみにしています。	サイドモール（左） サイドモール（右） 凸部（切り込み）

パネルふた、操作部ふたの取り付け時、必ず確認してください。

⚠注意

必ず守る **パネルふた（2個）、操作部ふた（2個）は、（左）（右）があります、取り付け方向に注意する。**



パネルふた、操作部ふた取付位置

作　業　手　順	説　明　図
5. パネルふたの取り付け ※必ずグリルとびらを引き出した状態で行ってください。 1. パネルふたのツメ（2カ所）をグリル側から機器本体の欠き部に合わせてください。 2. パネルふたのツメを欠き部に差し込み、パネルふたを押し当ててください。 3. ロックバーをカチッと音がするまで下げてください。 ※ツメが機器本体の欠き部にきちんと差し込まれているか、また、パネルの浮き、外れがないか確認してください。 ※イラストは、右パネルふたで説明しています。 左パネルふたも同様に取り付けてください。 ただし、ツメや欠き部、ロックバーの位置が左右逆になりますので、注意してください。	1. 欠き部 右パネルふた ツメ 2. 3. グリル 下げる ロックバー
6. 操作部ふたの取り付け 1. 操作部ふた（裏面）のツメ（2カ所）の開いている部分をパネル下方の軸部に合わせ、斜め上方よりパチンと音がするまで差し込んでください。 2. 操作部ふたを奥側に押して、操作部を取り付けてください。 3. 浮きやパネルふたと段差がないか確認してください。 **⚠注意** 必ず守る **操作部ふたのツメ（2カ所）を差し込むときは、軸部にまっすぐ2カ所同時に差し込む。** 傾けて取り付けると、ツメが破損するおそれがあります。 ※イラストは、右操作部ふたで説明しています。 左操作部ふたも同様に取り付けてください。 ただし、ツメの位置が左右逆になりますので、注意してください。	右操作部ふた（裏面） 引く ツメ 軸部 1. 差し込む 2. 押し込む
7. 機器本体の固定 ・機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定してください。 ※機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。	機器本体 本体固定ネジ（4本） イラストは、75cm幅タイプです。

作　業　手　順	説　明　図
8. オーブンとコンロのガス接続 ・オーブン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続してください。	接続の方法は、21ページ（ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法）を参照してください。
9. オーブン排気筒（オーブン側の付属部品）の取り付け ・オーブン排気筒上部のツバ部（穴）をコンロ側突起部に差し込みながら、オーブン後側の排気出口に確実に差し込んでください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。 ・オーブンの種類によって、オーブン排気筒の形状が異なります。オーブン排気筒によって、仕切板（左）の必要性が変わりますので、注意してください。 1 ふくらみなし　2 両側ふくらみ　3 片側ふくらみ 1 → 仕切板（右）：必要 仕切板（左）：必要 **切断ライン**で切断 2・3 → 仕切板（右）：必要 仕切板（左）：不要	ツバ部（穴） オーブン排気筒 ツバ部（穴） オーブン後側排気出口部 コンロ側突起部 オーブン排気筒
1 0. 仕切板（左）、仕切板（右）の取り付け 1. オーブン排気筒形状が上記1［ふくらみなし］の場合 ・仕切板（左）を切断ラインに沿って、ニッパーで切り取り、元通りに仕切板（左）・仕切板（左）取付ネジを取り付けてください。 **《切り取った仕切板は不要です。》** ・元通りに、仕切板（右）・仕切板（右）取付ネジを取り付けてください。 2. オーブン排気筒形状が上記2［両側ふくらみ］、3［片側ふくらみ］の場合 ・元通りに、仕切板（右）・仕切板（右）取付ネジを取り付けてください。 **《仕切板（左）は不要です。》** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	1. 仕切板（左）取付ネジ 切断ライン 仕切板（左） 仕切板（右）取付ネジ 仕切板（右） 2. 仕切板（右）取付ネジ 仕切板（右）
1 1. グリル排気筒の取り付け ・元通りにグリル排気筒（ネジ2本）を取り付けてください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。 **⚠注意** 必ず守る **グリル排気筒を確実に取り付ける** グリル排気筒が確実に取り付けられていないまま使用すると、機器が正常に機能しない場合や、機器損傷の原因になります。	グリル排気筒 グリル排気筒取付ネジ

[部品の取り付け]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1．トッププレート・バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとく・グリル排気口カバー・乾電池・サイドカバー・グリル受け皿・グリル焼網支持台・グリル焼網の取り付け	取り付け方法は、10〜14ページ（[部品の取り付け]）の項を参照してください。

[レンジフードファンの赤外線信号の動作確認]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1. レンジフードファンと連動する場合 ・コンロ操作部で点火操作して、レンジフードファンの連動を確認してください。	レンジフードファンが動作しない場合は、13ページ（◎設定を変更するとき）の項を参照してください。

ガス接続・ガス配管工事

◎ガス接続

・ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠注意

必ず守る **コンロ接続用フレキ管にOリングがついていることを必ず確認する。**
※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オーブン側に予備用としてOリングが入っていますので、使用してください。
※コンロ部の取り替え時は、Oリングを新しいものに取り替えてください。

禁止 **Oリングは複数個入れない。**

禁止 **コンロ接続用フレキ管は斜めに挿入しない。**
※斜めに挿入するとOリングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。

必ず守る **固定金具のスリット穴の中に、接続継手とコンロ接続用フレキ管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する。**

禁止 **コンロ接続用フレキ管のナットは、一定量圧縮するとそれ以上回らなくなるので無理に回さない。**

禁止 **コンロ接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない。**

上記項目を守らなかった場合、ガス漏れの原因になります。

作業手順	説明図
■接続部の構造	
1．オーブン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管のナット部を矢印方向へ移動させてください。	
2．挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。	
3．手じめで接続用フレキ管のナットを回し、ナットツバ部と接続継手ツバ部が合うまでしめ込んでください。	
4．ナットと接続継手の両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。 ※固定金具はナットのゆるみを止めるもので固定金具のスリット穴の中に接続継手とナットのツバ部が入っていることを確認してください。	

◎ガス配管工事

・機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換をしてください。

・ガス接続方法

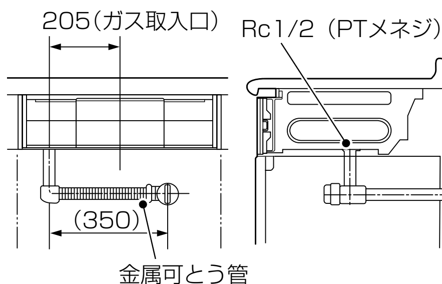
［ビルトインコンロ単体で設置する場合］

・ガス接続は金属管、金属可とう管または、機器接続ガス栓を使用してください。
・ガス接続はRc1/2（PTメネジ）です。

［ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合］

・ガス接続口、配管工事は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。
すでにオーブンが設置されている場合は、21ページのガス接続に従ってガス接続してください。

標準配管接続例



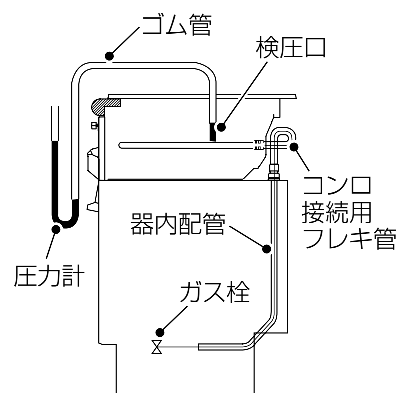
・接続・工事後のガス漏れ確認

［機器のガス接続が完了している場合］

・検圧口（コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オーブンまたはコンロの検圧口）に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えたあと、ガス栓を閉めて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

［機器のガス接続ができていない場合］

・検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。



［ガス漏れ確認終了後］

・検圧口ネジは確実に取り付けてください。
・ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。
・検圧口ネジを取り付け後に検圧口部からのガス漏れがないことを確認してください。

試運転

・取扱説明書の「使いかた」に基づいて試運転を行ってください。
・試運転終了後、長期間使用しないときはガス栓を閉めておいてください。

チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	4	
	同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2・7〜14	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	5	
	設置条件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	5	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	4	
	水平設置	水平に設置されていますか。	4	
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4	
	パネルふた・操作部ふた	前面のパネルふた・操作部ふたに「浮き・外れ」はありませんか。	9・12・13 17〜18	
	シールパッキン	シールパッキンが外れていないか確認してください。	10	
	給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
ガス接続・ガス配管工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	21〜22	
ラベル貼付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	—	
その他		グリル・オーブン庫内に同こん物が残っていませんか。	—	

株式会社ハーマン